

多世代交流拠点づくり【第 1 回】ワークショップ NEWS

横河原駅前の多世代交流拠点づくりワークショップが始まりました！

○多世代交流拠点とは・・・？

伊予鉄道横河原駅前にある店舗を利用し、子どもから大人、高齢者まで幅広い年齢の方が利用でき、多世代が交流できる拠点です。まちの活性化や子どもたちの地域への愛着の形成などにつながる場所を目指しています。

ワークショップでは、「どんな施設にしたいか」「どんな活動をしたいか」など市民の方に意見を出し合ってもらいました。



施設の基本情報（前提条件）



施設の運営者はだれ？

- ◆市が運営し、将来的に独立を目指す

いつから運営開始するの？

- ◆平成 28 年 2 月末オープン予定

どうやって活用するの？

- ◆市民団体の活動や人材バンク講師によりイベントを開催

【整備内容】

- ◆多目的トイレ 1 箇所設置（位置変更不可）
- ◆ミニキッチン設置（IH・ガス等火気不使用・位置変更不可）
- ◆室内リフォーム工事・看板設置工事 ←今回の WS 結果を反映

【維持管理】

- ◆独立が実現するまでは、光熱水費その他維持管理費は市負担

【利用のルール等】（現時点の想定）

- ◆一般利用者原則無料、専用利用者には一定の負担をいただく
- ◆禁煙・禁酒（飲酒については活動の趣旨により判断）
- ◆開館日、利用時間、その他ルール ←今回の WS 結果を反映

全体の 流れ



- 第 1 回ワークショップ（11 月 16 日）
↓ ・施設のイメージについて
- 第 2 回ワークショップ（12 月 15 日）
↓ ・施設内の利用プランや運営体制について
- 第 3 回ワークショップ（1 月上旬）
↓ ・施設名称の選定やオープニングイベントなどについて
- 工事発注・施工（平成 28 年 1 月中旬～2 月末）
↓
- オープン準備（平成 28 年 2 月中旬）
↓ ・周知チラシ作成、配布・オープニングイベント準備
- オープン（平成 28 年 2 月末）

- 実施日
11月16日
- 場所
横河原公民館

当日の様子



3グループに分かれ意見を出し合い、活動拠点をどんな施設にしたいか？どんな人に利用してもらいたいかなど、施設の利用イメージについて話し合いました。



出された意見をグループごとに発表しました。

他のグループの意見も聞きながら、交流拠点のイメージを深めてもらいました。



発表された意見を集約し、ワークショップ内での施設の大まかなイメージを確立し、内装のイメージについての投票も行いました。

第1回ワークショップでの意見

◆場所のイメージについて

- ・子どもからお年寄りまでくつろげる場所
- ・主婦・子育て世代が集まれる場所
- ・子どもがちょっと宿題をしたり、遊べる場所
- ・駄菓子販売やお試し販売ができる場所
- ・電車やバスの待ち合いに使える場所 など

◆そのために必要なもの・機能は？

- ・ちょっとした飲食（コーヒー・お茶）
- ・情報発信できる掲示板
- ・持ち寄った本で図書館
- ・家財などのリサイクル所
- ・自転車の置けるところ など

◆設備関係

- ・Wi-Fi環境、コンセントは多めに
- ・利用しやすいトイレ など

◆施設で実施したいこと

- ・趣味の教室
- ・宛名のない手紙交換システム
- ・昔あそび・戦争体験の継承
- ・愛大医学部奇術サークル定期公演
- ・子どもと一緒に宿題、多世代で勉強
- ・イベント開催（講演会、発表の場など）」など

◆施設のルール

- ・1日に必ずおしゃべりできる時間帯を設ける
- ・曜日や時間帯によって用途を区切る
- ・責任者や関係者の役割を明確にする
- ・できるだけ長い時間開ける体制づくり など

施設のリフォームイメージ投票結果

◆和・洋・折衷について

1位「折衷」「和風」 3位「洋風」

◆家・店舗・事務所について

1位「家」 2位「店舗」 3位「事務所」



投票の結果、「折衷」OR「和風」の「家」風となっています。